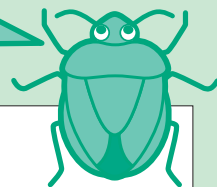


# 果樹カメムシに注意



## 現在の発生状況

チャバネアオカメムシの越冬量調査では、東三河地域を中心に越冬成虫が確認され、過去10年で3番目に高い越冬密度となりました。

このことから、7月末までの越冬世代成虫による果樹への飛来は多くなる見込みです。

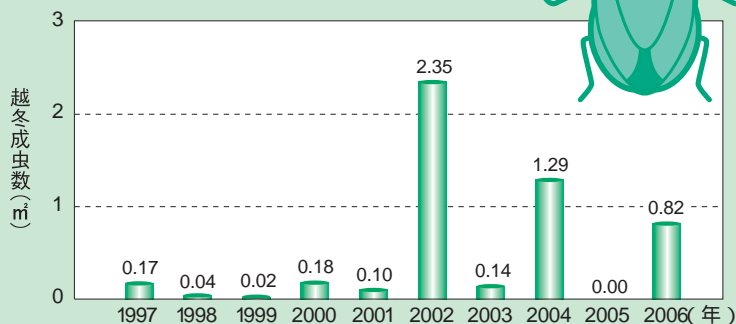


図 チャバネアオカメムシ越冬密度の年次変動

## 今後について

- 1) 現在、園への飛来は多くありませんが、越冬密度調査の状況から山林に生息する果樹カメムシ類は多いと予想されます。
- 2) 4月～6月にかけてはサクラ、クワの実やキリなどをエサとしていますが、これらを利用できなくなると園への飛来が増加し、果樹への加害が増加します。
- 3) また、気温の上昇とともに活動が活発になります。特に夜温が高くなると急激に飛来が多くなるので注意が必要です。

ほ場で見かけたら、早めの防除対策を心がけて下さい



## 農機自燃部コーナー 燃料油の豆知識

石油の精製は、原油を加熱・蒸留して行います。蒸留方法には、常圧蒸留法と減圧蒸留法があります。減圧蒸留法とは、圧力を下げ低い温度で原油を沸騰させる蒸留法で、高い山では気圧が低いために低温度で水が沸騰する原理を利用した方法です。

石油の蒸気を、原油に含まれる炭化水素の沸点の違いを利用して分類し、ガソリン・灯油・軽油・重油などを作ります。

